



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】 : 健康で明るい環境をつくろう

会 長 金子 利昭
副 会 長 小島 満
幹 事 叶野 聡
S A A 貝田 充
会報委員長 長谷山 尚城

2015～2016

第 2083 回例会

平成 27 年 10 月 20 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
ホテル精養軒
TEL (044) 711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
山脇ビル 402 号
TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
URL:http://www.kawanaka-rc.com

例会報告

開会点鐘	金子 利昭 会長
司 会	貝田 充 SAA
合 唱	「それこそロータリー」
お客様紹介	親睦活動委員会 志村修司委員長

ゲスト ^o -か 浅沼 専司様	セコム株式会社 川崎統轄支社 統轄支社長
ゲスト ^o -か 林 正広 様	セコム株式会社 川崎統轄支社 営業グループ 営業課長
ゲスト 横山 芳春様	川崎北ロータリークラブ
ゲスト 松田 敏治様	株式会社春日建設 代表取締役

今後のプログラム予定

10・11月	プログラム名
第 4 例会 10 月 27 日	卓話 市川 緋佐磨様 (2013-14 パスタガバナー) (川崎 RC)
11 月 3 日	休 会
第 1 例会 11 月 10 日	夜間移動例会 点鐘 17 : 30 (精養軒) 合同情報集会
第 2 例会 11 月 17 日	R 財団卓話

出席報告

廣山宗一出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
43 名	32 名	11 名 対象外 (7)	88.89%	欠 11 名 対象外 (7)	MU0 名	88.89%

【本日の欠席者】

市川 宏 会員 三木 治一 会員 小林 敏伸 会員
細山勝三郎 会員 中田 泰光 会員 伊藤 文治 会員
小丸日出夫 会員 島 利夫 会員 堀一 慶明 会員
小山 政吉 会員 小川 慶一 会員

ニコニココーナー

川崎北 RC

横山 芳春 様 : お世話になります。

金子 利昭 会員 : ①本日の卓話セコム(株)川崎統轄支社
支社長 浅沼専司様・営業課長 林正広様
よろしくお願ひいたします。②当例会にゲ
ストで来られた春日建設 松田敏治様当ク
ラブに入会しロータリーライフを楽しんで
ください。よろしくお願ひいたします。③
先日の区民祭にて、4クラブ合同防犯ネッ
ト配布に参加の方々(7名)協力ありがとう
ございました。

叶野 聡 会員：セコム(株)浅沼専司様・林正広様、卓話
楽しみにしていましたが、急用につき大変申
し訳ありませんが途中で退席させていただきます。

小山 政吉会員：本日は社用の為、お休みさせていただきます。次回よろしくお願ひ申し上げます。

廣山 宗一会員：朝山さん、中原区民祭では大変お世話
になりました。ありがとうございます。

川口 禮敬会員：我が家でも“セコム”やっています。卓
話楽しみに拝聴します。して入会楽しみに
待っています。

内藤 幸彦会員：セコムの浅沼川崎統轄支社長と林課長
をゲストスピーカーにお招きいたしました。
2度目の川崎中RC訪問になりますので、3
度目の正直では是非川崎中RCの仲間とし
てお迎えしたいと思っています。スピーチ
楽しみに拝聴させていただきます。

白井 正男会員：①本日の卓話セコム(株)支社長浅沼様よ
ろしくお願ひいたします。②本日ゲストに
松田敏治様ようこそ。これから一緒に学び
ましょう。

柁木 國義会員：①しばらく欠席しておりました。②セ
コム(株)浅沼様・春日建設 松田様ようこそ。

渡邊 新治会員：卓話楽しみにしています。本日もよろ
しくお願ひいたします。

合計	10件	11,000円
累計	266件	353,000円

会長報告 金子 利昭会長

1. 地区より2016-17年度 R財団地区奨学生・
グローバル奨学生募集についてのご案内が届
いております。回覧いたします。
2. なかはら“ゆめ”区民祭の賛助金のお礼が届い
ております。回覧いたします。
区民祭は10月18日(日)に等々力緑地にて
開催されました。

3. 第3回会長・幹事会開催(第2G)のお知らせ
が届いております。

日時：11月4日(水) 18:00 開会

場所：とうふ屋 うかい 鷺沼店

幹事報告

渡邊 新治副幹事

1. 例会変更

川崎西北 10月29日(木)

夜例会 点鐘 18:30 登戸柏屋

11月12日(木)

→14日(土) 移動例会 地区大会
参加

川崎高津 11月12日(木)

→14日(土) 13:00~に移動例会

地区大会に参加 パシフィコ横浜

11月26日(木) 親睦移動例会

を18:00~夜間例会に変更

ホテルKSP

2. ハイライトよねやま 187号が届いてお
ります。回覧いたします。

卓話 警備産業の歴史と現状について

ゲストスピーカー セコム株式会社川崎統括支社

支社長

浅沼 専司様

営業グループ 営業課長 林 正広 様



【警備産業の歴史と現状について軽やかに語る浅沼様】

【卓話概要】

セコムと言えば元ジャイアンツ監督である長嶋さん、セントラル警備様と言えば星野さん、全日警様と言えば金田さん。

警備業協会が日本野球連盟とタッグを組んでいる訳ではありませんが、最近そのような流れがあるように感じてしまうのは私だけでしょうか。実際にはそのようなことはありませんが。

さて、警備と一言で言ってしまうと味も素っ気もありませんが、実は業務の内容によって大別されており、1号業務から4号業務まであります。簡単にご説明しますと、

1号業務は、事務所や住宅、ビル、工場などの施設で行われる警備のことです。ビルの入り口で警戒している警備員や、自宅を警備するホームセキュリティなどがそれにあたります。

2号警備は、人や車両が混雑する場所、またそれらの通行が危険な場所で行われるものです。祭礼やイベントなどで不特定多数の方々が集まる場所での誘導業務などです。

3号警備は、現金や貴重品、また核燃料などの危険物運搬中の警備になります。

4号警備は、今日お集まりの皆様のようなVIP、要人をお守りするボディガードがそれに該当します。このように業務内容も様々で、ご契約者の要望によって適材適所、それぞれの目的が達成されるよう資格を有している者の人選を行っているのが実情です。

業界全体のお話をさせていただきますと、私どもセコムの前身である日本警備保障が誕生したのが1962年、昭和37年でございます。お陰さまで今年で53年目を迎えます。現在、国内には9100社の警備会社があり、人員は54万人という規模の業界に成長することができました。東京オリンピック、パラリンピックも目前に迫っており、今後ますます皆様のお力になれると確信している次第です。

先ほど当社が53年目を迎えるとお話しましたが、これまで決して順風満帆ではございませんでした。創業当時は契約先が無く、大変な苦勞があったと聞いておりま

す。

続いて、警備史と言うと少し大袈裟ではありますが、警備という概念がいつ頃生まれたのかについてお話させていただきます。日本では11世紀末頃に藤原氏が摂津、和泉、近江と言った近畿圏において、名手らを上京させ警護の奉仕をさせていたとされています。また白河天皇が御所の北に置いた「北面の武士」「(ほくめんのぶし)」は身辺警護の起源ともされています。

世界に目を向けてみますと、警備業の萌芽(ほうが)とされるのは、中世フランスにおける警備活動であるだとか、19世紀後半アメリカで活躍したピンカートン探偵社が警備会社の始まりとも言われております。

さて、一昔前の日本はと言うと「日本の水と安全はただである」と海外からも言われていたように、明治維新までは鎖国を続け、維新後も島国という地理上、日本の治安は高かった為、創業当時に私どもが苦勞したのは当然だったのでしょうか。しかし、最近では水と安全もただでは無くなっていることは皆様もご存知だと思います。

これから私が申し上げる過去に世間を騒がせた事件は、今日お集まりの皆様は強く記憶に残っているのではないかと思います。

三菱重工爆破事件をはじめとした連続企業爆破事件。永山則夫連続射殺事件。(当時は108号連続射殺魔事件などと言われていたようですが)

よど号ハイジャック事件。

三億円強奪事件などです。

これらの事件は、何れも警備業へ大きく影響を与えています。

連続企業爆破事件では、ビルへの常駐警備導入が盛んになり、また建設現場へ警備員を派遣することが常態化しました。

永山則夫連続射殺事件では、実は当社の機械警備が活躍しました。永山容疑者が侵入した渋谷区千駄ヶ谷にある建物にはセコム(当時は日本警備保障)の機械警備が設置されており、駆けつけた警備員と格闘した永山容疑者が深手を負い、逃亡2時間後に逮捕されるに至りました。

この事件解決が、当社の機械警備が世に認知される契機になったとも言えると思います。

またよど号ハイジャック事件では、空港警備の重要性が叫ばれ、空港警備保安業務へ新規参入する企業が増加しました。

そして三億円強奪事件でも、それまで行員さんが現金を輸送していたことが問題となり、現金輸送警備として民間の警備会社が業務を行えることになりました。

今も営業の現場では、「セコムさんは、事件事故が発生すると儲かる会社だ」と、言われることがあります。私どもも可能な限り事故が発生する前の対策、備えをしていただくよう日々営業活動に精を出しておりますが、まだまだ営業不足と言わざるを得ません。今日は良い機会をいただきましたので、会場にお越しの皆様の中で、会社・自宅等へ今すぐ警備を導入なさりたいと言う方はのちほど、是非私にお声掛け下さい。

本日の営業活動はこれ位に致しまして本題に戻りますが、事故発生から警備需要が高まっただけではありません。対照的な事例で申しますと、1964年の東京オリンピックの選手村の警備や、1970年の大阪万国博覧会会場の警備を、セコムとアルソック様（当時は日本警備保障・総合警備保障）などが行なったこと、また1965年～1971年にかけてTBSで放送されたテレビドラマ『東京警備指令 ザ・ガードマン』のヒットなどにより、徐々に警備業という業種や警備員という職業が社会的認知を受けるようになったことで、警備業が大躍進するに至った経緯がございます。実のところ、私自身はウルトラマン世代です。ザ・ガードマンと言われましてもまだこの世に生を受けておらず、ピンとは来ません。ですがご参加の皆様のお大半は、宇津井建さん主役のこのドラマをご存知なのではないでしょうか。結構な視聴率だったと聞いております。

これらの歴史を経て現在に至っておりますが、当社に限って申しますとこれまでの人的なマンパワーによる警備や、機械警備と言ったセキュリティ事業に始まり、防災、メディカル、保険、地理情報サービス、情報通信、不動産など、多岐に渡る事業を展開させていただいております。官民合同では、全国初の「民間」刑務所の運営（法務省刑務官と合同）も行っている状況です。

最後になりますが、今当社ではALL SECOM と銘打ち、「お困り事は全てセコムにご相談下さい」とのスタンスで全力で活動しております。会場にいらっしゃる皆様は

ご地域の名士、特に影響力が絶大な方々と存じております。今後、地域の防犯、防災に関して、ご相談をお受けになるお立場ですので、何卒ご支援ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

本日はご清聴賜り誠にありがとうございました。

以上